

# 企業のテレワークに関するアンケート結果

2020年4月

ケイスリー株式会社

# 1 アンケート概要

---

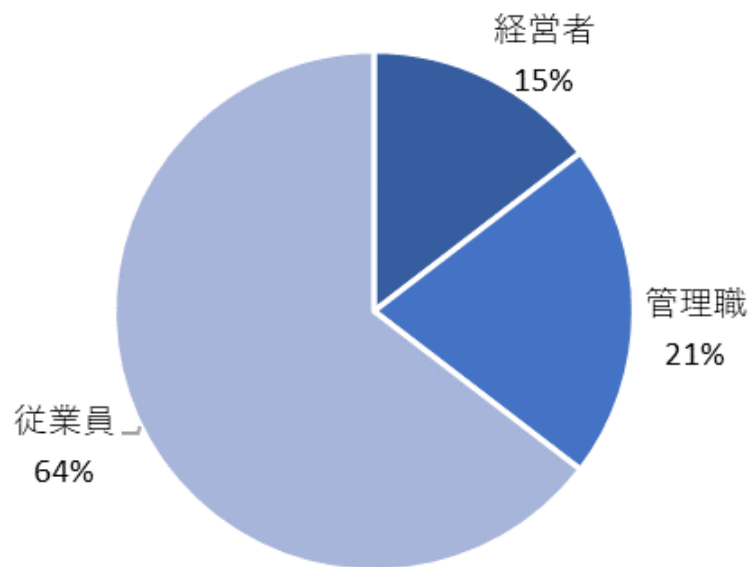
- 下記のとおりアンケートを実施

期間	2020年4月3日～10日
対象者	企業で働く方
実施方法	オンラインアンケート
回答数	48件

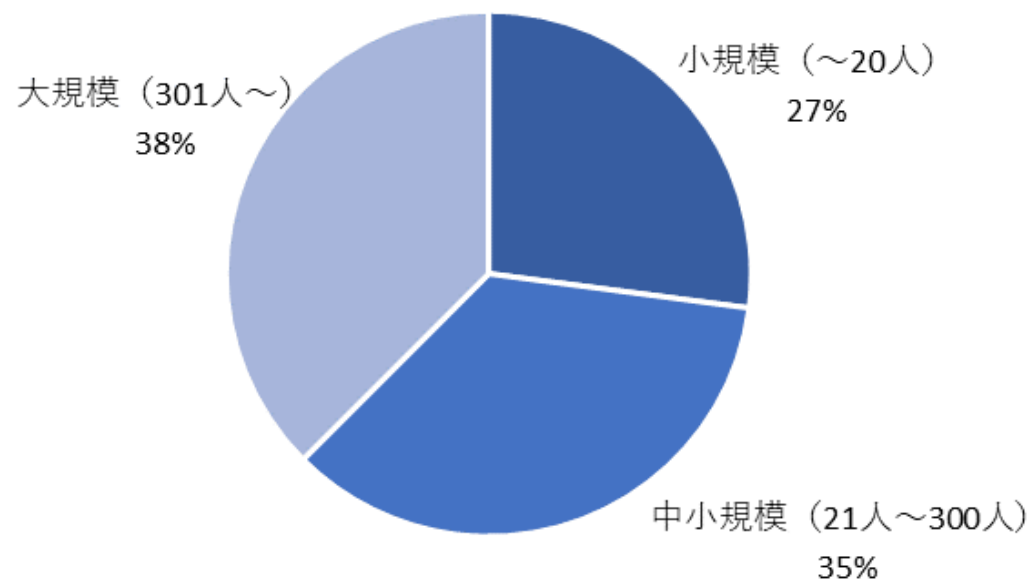
## 2-1 結果 (属性)

- 回答者の属性は、従業員が過半数
- 企業の規模は、ほぼ同数

属性

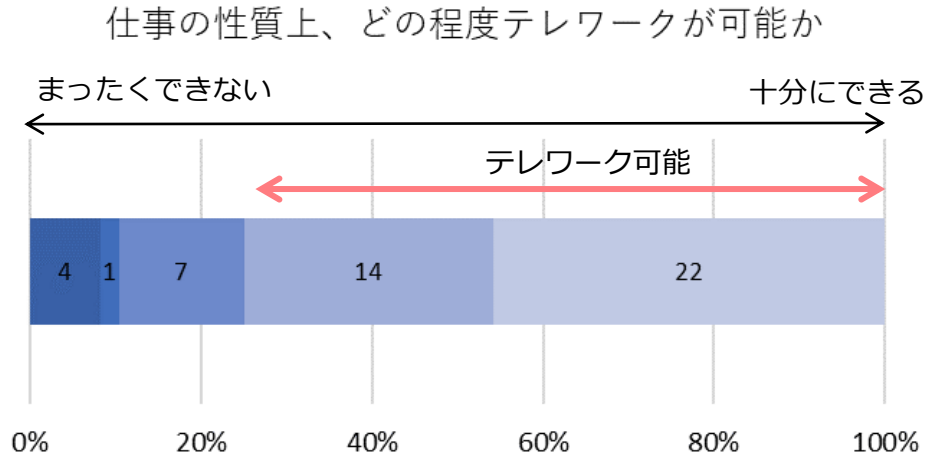


企業の規模

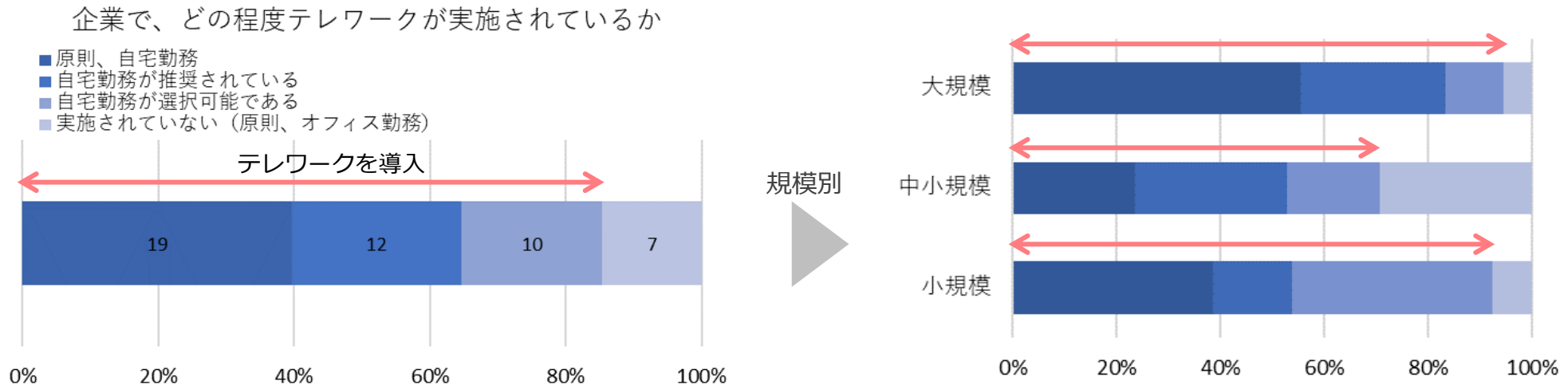


## 2-2 結果（テレワークの取組み状況①）

- 80%近くの人がテレワーク実施可能と回答。



- 80%以上で、テレワークが導入されている。相対的に、中小規模での導入が低い。

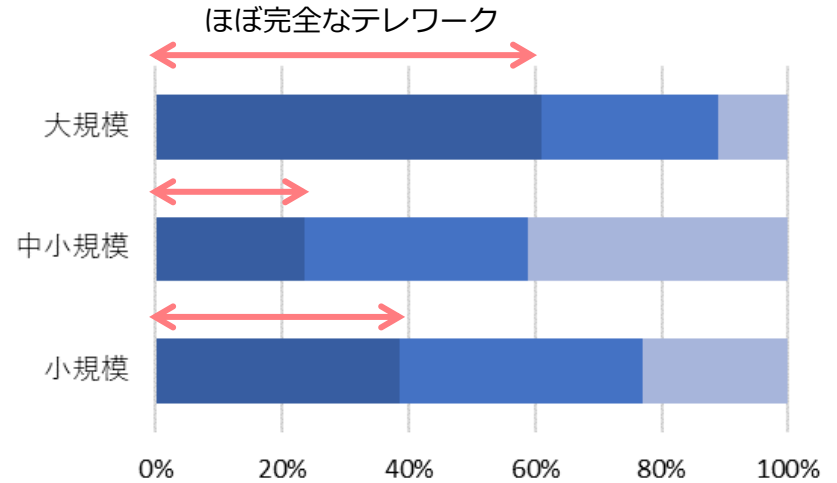
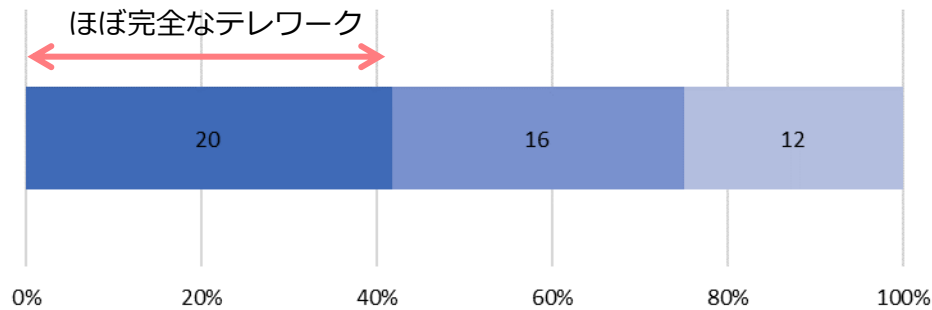


## 2-3 結果（テレワークの取組み状況②）

- 約40%の人が完全なテレワークに移行。相対的に、中小規模での移行が少ない。

どの程度テレワークを行っているか

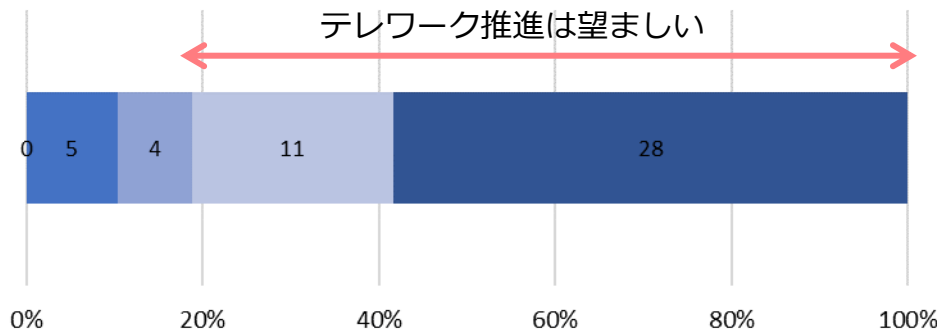
■ ほぼ毎日（週4～5日） ■ 半分程度（週2～3日） ■ ほぼしていない（週0～1日）



- 80%以上が、テレワーク推進は望ましいと回答。

テレワークの推進は望ましいか

まったく思わない ← とも思う →



## 2-4 結果 (ストレス度合い)

- テレワークとオフィスワークのストレス度合いに大きな差はない。
- 属性別に見ると、テレワークによる従業員や管理職のストレスは経営者より若干高い。

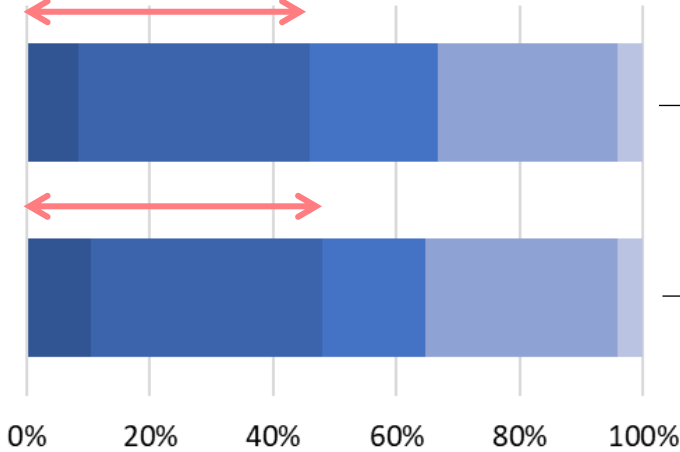
ストレスの度合い

- とても感じる
- まあ感じる
- どちらともいえない
- あまり感じない
- まったく感じない

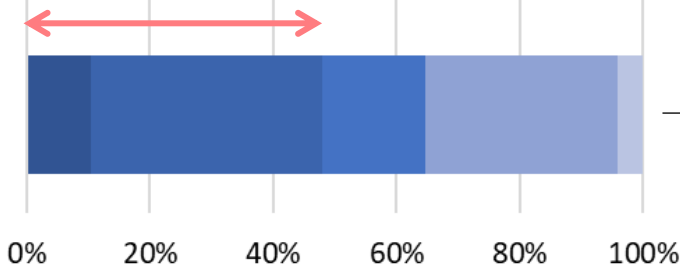
ストレスを感じる



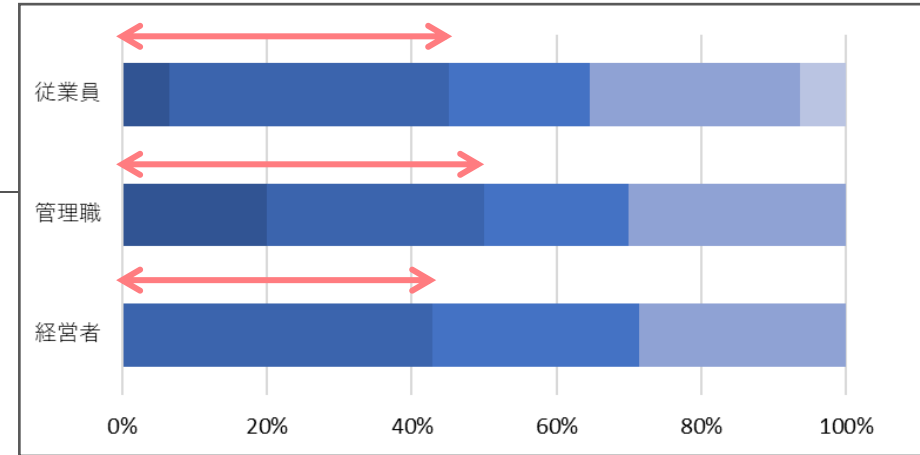
テレワーク



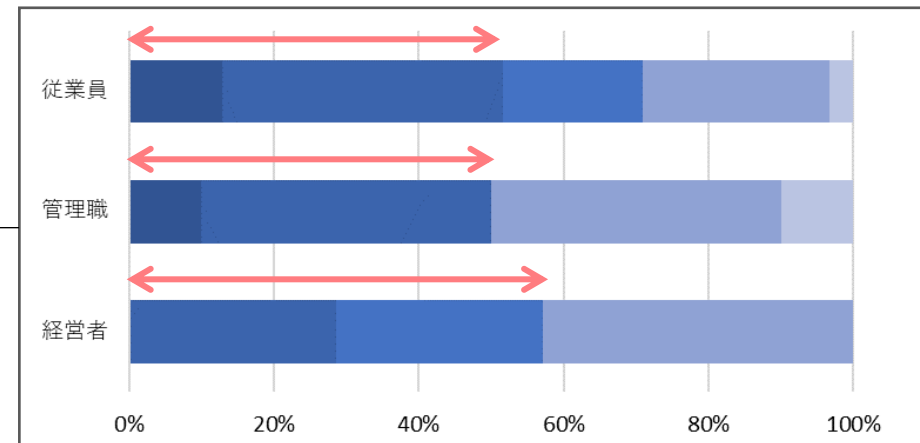
オフィスワーク



テレワークに感じるストレス (属性別)



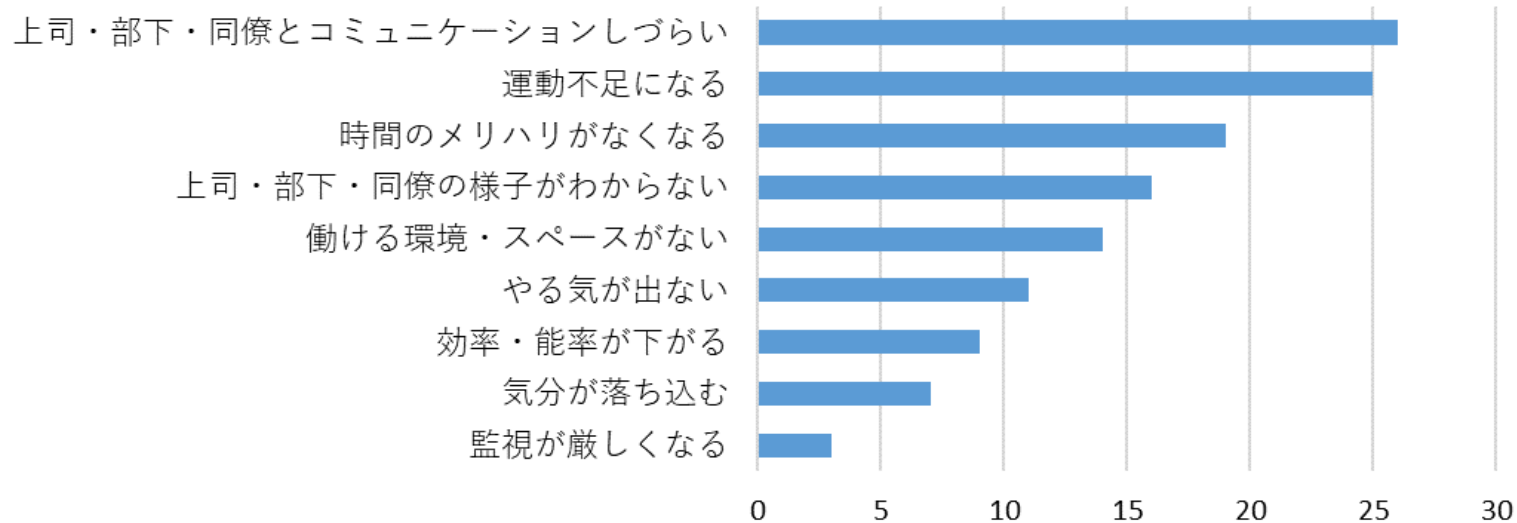
オフィスワークに感じるストレス (属性別)



## 2-5 結果（テレワークに感じる問題）

- テレワークの課題としては、①コミュニケーション、②運動不足、③時間のメリハリ、が上位となった。

テレワークに関する問題



その他

設備

- データが取れない、データの管理が手間、セキュリティ
- 会社のプライベートネットワークに接続できない
- 外部への電話ができない、通信費、機材の負担、
- pcが遅い、ときどき落ちる、ディスプレイが小さい
- 長時間仕事をする椅子が家がない
- 郵便物が受け取れない
- 印刷できない

家族

- 子どもたちがいて仕事に集中できない
- 家族もテレワーク
- 家族同居の場合のメリハリのつけ方
- 家族が話しかける

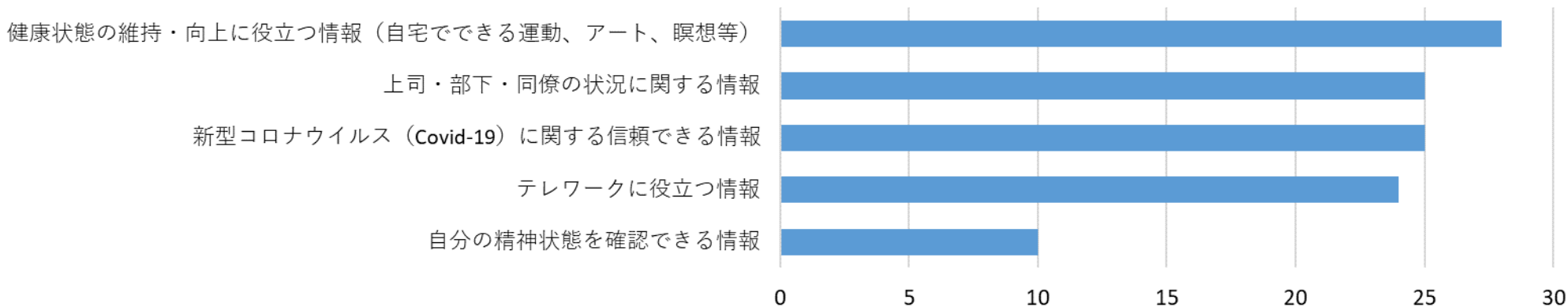
その他

- 仕事が増える
- 診療なので法律上困難
- 作業者を監視できない
- 働き方に対する価値観の相違が鮮明になる

## 2-6 結果（テレワーク中に受け取りたい情報）

- 受け取りたい情報は、テレワークに関する課題（前項）を解決につながるものが上位となった。属性によって、その順位には違いが見られる。

テレワーク中に受け取りたい情報



上位	従業員	管理職	経営者
1	健康状態の維持・向上に役立つ情報	健康状態の維持・向上に役立つ情報	・ Covid-19に関する信頼できる情報 ・ テレワークに役立つ情報
2	上司・部下・同僚の状況に関する情報	Covid-19に関する信頼できる情報	上司・部下・同僚の状況に関する情報

### その他

- 個々への情報よりも、トップで仕組みを早く確立してほしい。紙伝票と押捺のための出社や、出退勤や体調報告の報告方法など非効率。
- 職務に関する情報
- コミュニケーション負荷は多すぎるので、なるべく連絡はないのがよい。この時期に宣伝メールを入れると企業イメージは悪化する。
- 特になし